

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2010-226491(P2010-226491A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2009-72322(P2009-72322)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 Z

H 04 N 5/225 F

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月14日(2012.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1記載の発明は、画像を撮影する撮像手段と、撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録手段と、複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶手段と、上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶する記憶制御手段とを具備したことを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項2記載の発明は、更に、上記管理記憶手段が記憶する属性情報に基づいて上記記録手段に記録した個々の画像データに付加されている属性情報を編集する編集手段を更に備えたことを特徴とする。

請求項3記載の発明は、更に、個々の画像データに付加すべき属性情報の項目を任意に選択する選択手段と、上記選択手段により選択された項目を示す選択情報を記憶する選択情報記憶手段とを更に備え、上記記憶制御手段は、上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、上記選択情報記憶手段に記憶された選択情報が示す項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、該選択情報が示す項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項4記載の発明は、更に、上記編集手段は、上記記録手段に記録した個々の画像データに付加されている属性情報に基づいて、上記管理記憶手段が記憶する属性情報を編集することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項5記載の発明は、更に、それぞれ属性情報の項目の組合せが異なる複数のモードから1つを選択するモード選択手段をさらに具備し、上記選択手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づいて個々の画像データに付加すべき属性情報の項目を選択することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項6記載の発明は、更に、上記複数のモードは、属性情報を構成する項目数を段階的に設定しており、上記モード選択手段は、上記記録手段に記録した画像データの公開対象に応じて上記モードを選択し、上記選択手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づいて個々の画像データに付加すべきでない属性情報の項目を特定することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項7記載の発明は、更に、上記編集手段は、所定の編集基準に基づいて、上記記録手段に記録する複数の画像データに付加する属性情報を一括して自動的に編集することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項8記載の発明は、更に、上記記録手段で記録する画像データを複数指定する画像指定手段をさらに具備し、上記編集手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づき、上記画像指定手段で指定した複数の画像データに付加する属性情報を一括して自動的に編集することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項9記載の発明は、更に、上記編集手段は、上記記録手段に記録する画像データに付加されていない項目の属性情報を、上記管理記憶手段が記憶する属性情報から読み出して、上記記録手段に記録されている各画像データに付加されている属性情報を自動的に編集することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項10記載の発明は、更に、上記記録手段に記録する画像データに付加する属性情報の項目を任意に指定する指定手段をさらに具備し、上記編集手段は、上記指定手段で指定した項目に従い、上記記録手段に記録する画像データに付加された属性情報に指定された項目がない場合には上記管理記憶手段が記憶する属性情報から対応項目を読み出して追加記録させる一方、上記記録手段に記録する画像データに付加された属性情報に指定外の項目がある場合には当該項目を上記管理記憶手段が記憶する属性情報に移動させることを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項11記載の発明は、更に、上記管理記憶手段は、上記記録手段で画像データを記録する媒体内に記録することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項12記載の発明は、画像を撮影する撮像部と、撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録部と、複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶部とを備えた撮像装置での記録制御方法であって、上記撮像部により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録部に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶部に記憶する記憶制御工程とを有したことを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項13記載の発明は、画像を撮影する撮像部、と、撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録部と、複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶部とを備えた撮像装置が内蔵するコンピュータ

が実行するプログラムであって、上記コンピュータを、上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶する記憶制御手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正13】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を撮影する撮像手段と、

撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録手段と、
複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶手段と

、
上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶する記憶制御手段と

を具備したことを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

上記管理記憶手段が記憶する属性情報に基づいて上記記録手段に記録した個々の画像データに付加されている属性情報を編集する編集手段を更に備えたことを特徴とする請求項1記載の撮像装置。

【請求項3】

個々の画像データに付加すべき属性情報の項目を任意に選択する選択手段と、

上記選択手段により選択された項目を示す選択情報を記憶する選択情報記憶手段と
を更に備え、

上記記憶制御手段は、上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、上記選択情報記憶手段に記憶された選択情報が示す項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、該選択情報が示す項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

上記編集手段は、上記記録手段に記録した個々の画像データに付加されている属性情報に基づいて、上記管理記憶手段が記憶する属性情報を編集することを特徴とする請求項2または3に記載の撮像装置。

【請求項5】

それぞれ属性情報の項目の組合せが異なる複数のモードから1つを選択するモード選択手段をさらに具備し、

上記選択手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づいて個々の画像データに付加すべき属性情報の項目を選択することを特徴とする請求項3または4に記載の撮像装置。

【請求項6】

上記複数のモードは、属性情報を構成する項目数を段階的に設定しており、

上記モード選択手段は、上記記録手段に記録した画像データの公開対象に応じて上記モードを選択し、

上記選択手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づいて個々の画像データに付加すべきでない属性情報の項目を特定することを特徴とする請求項5記載の撮像装置

。

【請求項 7】

上記編集手段は、所定の編集基準に基づいて、上記記録手段に記録する複数の画像データに付加する属性情報を一括して自動的に編集することを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

上記記録手段で記録する画像データを複数指定する画像指定手段をさらに具備し、

上記編集手段は、上記モード選択手段で選択されたモードに基づき、上記画像指定手段で指定した複数の画像データに付加する属性情報を一括して自動的に編集することを特徴とする請求項 7 記載の撮像装置。

【請求項 9】

上記編集手段は、上記記録手段に記録する画像データに付加されていない項目の属性情報を、上記管理記憶手段が記憶する属性情報から読み出して、上記記録手段に記録されている各画像データに付加されている属性情報を自動的に編集することを特徴とする請求項 2 乃至 8 のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項 10】

上記記録手段に記録する画像データに付加する属性情報の項目を任意に指定する指定手段をさらに具備し、

上記編集手段は、上記指定手段で指定した項目に従い、上記記録手段に記録する画像データに付加された属性情報に指定された項目がない場合には上記管理記憶手段が記憶する属性情報から対応項目を読み出して追加記録させる一方、上記記録手段に記録する画像データに付加された属性情報に指定外の項目がある場合には当該項目を上記管理記憶手段が記憶する属性情報に移動させる

ことを特徴とする請求項 2 乃至 9 のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項 11】

上記管理記憶手段は、上記記録手段で画像データを記録する媒体内に記録することを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 12】

画像を撮影する撮像部と、撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録部と、複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶部とを備えた撮像装置での記録制御方法であって、

上記撮像部により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録部に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶部に記憶する記憶制御工程と

を有したことの特徴とする記録制御方法。

【請求項 13】

画像を撮影する撮像部と、撮影に関する属性情報が個別に付加された複数の画像データを記録する記録部と、複数の画像データの撮影に関する属性情報を一元的に記憶して管理する管理記憶部とを備えた撮像装置が内蔵するコンピュータが実行するプログラムであって、

上記コンピュータを、

上記撮像手段により新たな画像データが撮影された場合に、指定された項目に対応する属性情報を該画像データに付加して前記記録手段に記録するとともに、この指定された項目以外の項目に対応する属性情報を該画像データに付加することなく上記管理記憶手段に記憶する記憶制御手段と

して機能させる、コンピュータが読み取り可能なプログラム。